

平成30年11月25日
一般財団法人国際青少年育成振興財団
事務局 鴻谷 登 作成

国際わいわいクラブ 埼玉支部 報告

日時 平成30年11月25日(日) 13時00分～16時40分
場所 大宮カントリークラブ
講師 高野プロ・山下プロ
協力 大宮CCスタッフ・ボランティアスタッフの方々
参加人数 9名
スタッフ6名 西山・須賀・鴻谷・三浦・小塩・小島
東大生 3名
タイムスケジュール



13:00 大宮 CC 施設 清心館 3F にて開会式を行いました。(写真 1)

13:10 今回のわいわいクラブは人の生活を支えているエネルギーをテーマに、まずは昔と今のエネルギーについて勉強しました。今は石油が主なエネルギーとして使用されていますが、昔は鎖国をしており石油が無かった為、主に薪、菜種油、イワシやクジラの油をエネルギーとして使用していました。また銭湯では、道に落ちているゴミや木片なども集めていたそうです。その為昔はゴミも少なく環境に良い時代だったという事を学びました。次に体験学習では、昔はイワシやクジラの油を使い明かりを灯していたという事でツナ缶ランプをしました。まずはツナ缶の中心に桐で穴をあけ、こよりを穴に差し込みます。こよりの先端まで油が浸透したのを確認したら火を点けます。火が消えた後のツナ缶はそのまま食べる事も出来るので、震災の際には明かりと非常食が同時に確保できます。先人達の生活の知恵が生かされた授業でした。東大生ボランティアの授業では、原子力・火力・再生可能エネルギーについて勉強しました。まず各エネルギーがどのように発電するのか仕組みを勉強し、メリットとデメリットを学びました。今の社会は石油に依存していますが、資源には限りがあるので必ず行き詰る時が来ます。そこで、今後どのエネルギーがより必要とされていくのかについてディスカッションをしました。子供達は、難しい内容に頭を抱えながらも自分の意見を一生懸命発表していました。(写真 2) (写真 3)

14:00 調理実習では、江戸時代の学習にちなみ、みんなでだんご作りに挑戦しました。味は、餡子・きな粉・みたらし・胡麻・芋餡があり子供達はそれぞれ好みの味付けをして食べていました。とても好評で 10 本近くだんごを食べている子供もいました。
(写真 4) (写真 5)

15:00 大宮 CC 紅コースにてゴルフ体験スタート。天候に恵まれ絶好のゴルフ日和でした。ルールやマナーをしっかり勉強し、楽しくプレー出来ました。プロやボランティアの方々にお付添いいただき、事故なく安全にプレーをすることが出来ました。(写真 6)



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)



(写真 5)



(写真 6)

初回登録 1,000円 (登録者は無料)

当日参加費 1,000円 (コースプレー代を含む)

ジュニアの為に、1回の講義とコースでのプレーで1,000円というお値段は、ボランティアスタッフの皆様や協力団体の皆様のご協力の元実現したお値段でございます。今後、プログラムへの参加希望やご協賛等のお問い合わせは国際青少年育成振興財団事務局までご連絡ください。

お問い合わせは

一般財団法人 国際青少年育成振興財団

国際わいわいクラブ事務局

電話 03-6438-9783 担当 鴻谷・西山